

HTMLエディターとは

インターネット上にホームページを持っていく人が増えてきた。インターネットのホームページはHTMLという言葉で記述しなければならず、書店ではこのHTMLの解説本がよく売れているようだ。しかし、まだホームページを持たない人にとっては、このHTML言語を記述するのが1つの壁となっている。また、業務上HTMLを作成する者にとってもそれがけっこう煩わしいものであることには変わりはない。

HTMLエディターは、ホームページ作成の手間を少しでも軽減するために生まれてきたお助けソフトだ。しかし初期の頃のもの、HTMLのタグを打ち込む作業を簡略化する機

能を持つにとどまり、結局HTML言語を習得していなければ使えないというものだった。また、HTMLの進化に伴い、対応できないタグも増えてきた。そのころのソフトを第一世代とすると、最近ではホームページの実際のレイアウト上でそのまま編集できる、いわば第二世代ともいえるものが現れてきた。HTMLの新たな拡張機能を先取りしているものもある。また、グラフィックツールやクライアントサイドのイメージマップ作成機能、サーバーへの登録機能を備えるものもあり、単にHTMLを編集するHTMLエディターとしての機能にとどまらず、ホームページの作成を総合的に支援しようとする意欲的な製品が多くなって

る。また、一方でジャストシステムの「一太郎6.3」やLotusの「WordPro」、Adobeの「PageMaker 6.0J」など既存のワープロ・DTPソフトもHTML作成機能を標準で装備するようになってきている。こうして、以前から種類の豊富なフリーウェアやシェアウェアも含めると、HTMLエディターはまさに百花繚乱の状態だ。

今回のレポートで取り上げる最新HTMLエディターの特徴を下の表にまとめたので、試用レポートと併せてソフトウェア選択の参考にしてください。

製品名	COSAIC	PAGEMILL	HOTALL	I-WRITE	ホームページビルダー	WZ-EDITOR	WORDTOWEB	NETSCAPE GOLD	INTERNET ASSISTANT	
開発元	ビジョン・コーポレーション	アドビシステムズ株式会社	デービーソフト株式会社	ウイニングラン・ソフトウェア株式会社	日本アイ・ピー・エム株式会社	株式会社ピレッジセンター	日本電気株式会社	Netscape Communications	マイクロソフト株式会社	
価格	198,000円	29,800円	20,000円	19,800円	14,800円	9,800円	9,800円	フリーソフトウェア	版配布中	
タイプ	WYSIWYG型* HTML編集ソフト	WYSIWYG型 HTML編集ソフト	WYSIWYG型 HTML編集ソフト	HTML書き出し機能付きワープロ	WYSIWYG型 HTML編集ソフト	WYSIWYG型 HTML編集機能付きテキストエディター	ワープロアドイン型 HTML編集機能拡張	WYSIWYG型 HTML編集ソフト	ワープロアドイン型 HTML編集機能拡張	
対応機種	Macintosh (予定:Windows)	Macintosh	Windows (予定:OS/2・Mac)	Macintosh	Windows・OS/2	Windows	Windows	Windows	Windows	
操作性	WWWクライアント機能		x	x			x	x		
	HTMLファイルの読み込み				x					
	HTMLソース直接編集機能	x	x	x	x				(外部エディター起動)	
	画像の貼り付け	ドラッグ&ドロップ	ドラッグ&ドロップ	ドラッグ&ドロップ	ドラッグ&ドロップ	ドラッグ&ドロップ	メニューで指定	メニューで指定	ドラッグ&ドロップ	メニューで指定
	扱える画像フォーマット	PICT・TIFF・PhotoCD・JPEG・GIF	PICT・JPEG・GIF	BMP・JPEG・GIF	PICT・EPS・JPEG	BMP・TIFF・JPEG・GIF	BMP・GIF	GIF	JPEG・GIF	BMP・JPEG・GIF
	イメージマップ作成機能(クライアントサイド)	x		x	x		x		x	x
	リンクの貼り方	ドラッグ&ドロップ	ドラッグ&ドロップ	ドラッグ&ドロップ	ダイアログ	ドラッグ&ドロップ	ダイアログ	ダイアログ	ドラッグ&ドロップ	ダイアログ
	パスの指定	相対値*	絶対値*	相対値		絶対値	絶対値、相対値の選択	相対値	相対値	絶対値、相対値の選択
	リンクチェック機能		x		x	x		x	x	x
	フォントサイズの指定		x		x			x		
タグへの対応(メニューの有無)	文字のプリント	x			x		x		x	
	背景カラーの指定・レイアウトの確認				x		(設定のみ)	x	(設定のみ)	
	背景グラフィックの貼り付け&レイアウトの確認				x		(設定のみ)	x	(設定のみ)	
	表作成		x	x		(セル連結可能)		x		
	画像文字回り込み&レイアウトの確認(Align LEFT/RIGHT)		x	x	x	x	(設定のみ)	x	x	
	フォーム作成			x	x		x		x	
	自由に使えるクリップアートやテンプレートの有無		x	(アイコン、ボタン)	(サンプルHTML)	(アイコン)	x	(HTML作成キット)	x	x
	備考	画像リサイズ機能あり	GIFの透明設定、インターレース設定が可能			JAVAのビューワ機能を内蔵、画像リサイズ機能あり		WWWサーバーへのFTP登録機能付き	JAVAのビューワ機能を内蔵	Internet Explorerの独自タグをサポート
	CD-ROM収録	x	x				x		x	

*WYSIWYG: What You See IS What You Getの略。完成レイアウトイメージのまま編集ができる機能のこと。
相対値: 参照先ファイルを参照元ファイルを起点として指定する方法
絶対値: 参照先ファイルをルートディレクトリから指定する方法

HTMLエディター試用レポート

ホームページを作成する場合、ゼロから作り始めるよりも、インターネット上の気に入ったページを研究して自分なりにアレンジしたり、あるいは自分が今までに作ったページを再利用することが多い。その場合、これらと思うページはNetscape Navigatorの拡張機能をフルに活用していることが多くない

る。そういった視点から今回はあくまで「HTMLファイルを読み込んで再編集」することに重点を置いてソフトを試し評価を行った。

HTMLエディターで、すでに作成されているHTMLデータを読み込んで再編集しようとすると、機能的にそのソフトで作成できるタ

グであれば、きちんと認識して画面に表示することが多い。しかし、どのソフトでもいくつかの問題が出てくるのは避けられない。ソフトによってタグを認識再現しなかったり、書き換えなくていいタグをいつの間にか勝手に変更、追加、省略したりしてしまうので、油断ができないのである。

テスト用サンプルデータについて

今回は各ソフトウェアをテストするためという事でちょっと複雑なホームページのサンプル(下図)を用意し、これを各ソフトウェアで読み込ませて各種タグへの対応度合いを見ることにした。どのソフトも一見するとホームページを簡単に作成するための機能は申し分ないようだが、さまざまなタグを「入れ子構造」にしたサンプルを利用して試みることで、製品ごとにかなり差があることが明らかになった。

グラフィックにおけるテキストの回り込み設定、タグの<ALIGN=RIGHT>

属性を再現できたソフトはたった1点のみ。<ALIGN=LEFT>属性などは、リストタグと組み合わせて使用した場合、再現できたソフトは皆無であった。

書式や罫線あるいはリストの表記はほとんどのソフトで、読み込み時と書き出し時ともにきちんと再現するようだ。

最も編集ソフトの恩恵を受けると思われる表組は使い勝手が気になるところだが、これについては表組自体をサポートしているソフトであればどれも使いやすく設計されている。

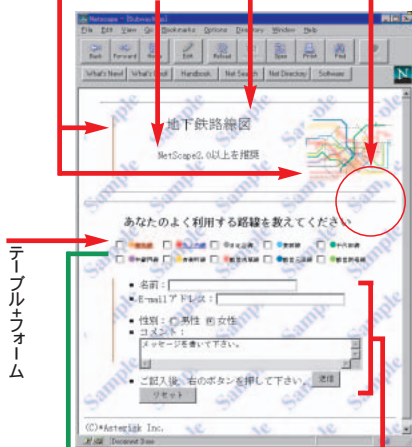
ただし、表組の読み込みはソフトごとに独自のクセがあるものが多く、正しく読み込ませるには慣れが必要なものだ。フォームタグについてはサポートするものとならないものがある。

なお、ワープロへのアドイン型のもは当然ながら編集時に背景のグラフィックを表示できない。また、今回サンプルページをそれぞれのソフトで表示させてみたところ、読み込み時に認識できなかったタグを勝手に書き換えてしまうソフトの多いことが気になった。

Netscapeで表示したサンプルページとそのHTMLソース

画像+文字の回り込み バックグラウンド画像/カラー

文字リンク フォントサイズ



リンク指定

リスト+フォーム



```
<HEAD><TITLE>SubwayMap</TITLE></HEAD>
<BODY background="Back.gif" text="#1f1f1f">
<HR width="90%">
<CENTER><P><IMG src="Map.gif" ALIGN=RIGHT>
<IMG src="50.gif" ALIGN=LEFT><FONT size="+2">地下鉄路線図
</FONT><BR>
<BR><BR><blink>NetScape2.0以上を推奨
</blink><BR><BR><HR size="3" width="90%" align="center">
<HR size="3">
<FORM METHOD = "POST" ACTION = "mailto:"><FONT SIZE=+1>
<b>あなたのよく利用する路線を教えてください</b></FONT>
<P>
<TABLE border="0"><TR><TD><INPUT type="checkbox">
<TD><IMG src="01.gif"><FONT SIZE=4><A HREF="ginza.html">
銀座線</A></FONT><TD><INPUT type="checkbox"><TD>
<IMG src="02.gif"><FONT SIZE=4><A HREF="marunouchi.html">
丸ノ内線</A></FONT><TD><INPUT type="checkbox"><TD>
<IMG src="03.gif"><FONT SIZE=4>日比谷線</FONT><TD>
<INPUT type="checkbox"><TD><IMG src="04.gif"><FONT SIZE=4>
東西線</FONT><TD><INPUT type="checkbox"><TD>
<IMG src="05.gif"><FONT SIZE=4>千代田線</FONT><TR><TR><TD>
<INPUT type="checkbox"><TD><IMG src="06.gif"><FONT SIZE=4>
半蔵門線</FONT><TD><INPUT type="checkbox"><TD>
<IMG src="07.gif"><FONT SIZE=4>有楽町線</FONT><TD>
<INPUT type="checkbox"><TD><IMG src="08.gif"><FONT SIZE=4>
都営浅草線</FONT><TD><INPUT type="checkbox"><TD>
<IMG src="09.gif"><FONT SIZE=4>都営三田線</FONT>
<TD><INPUT type="checkbox"><TD><IMG src="10.gif"><FONT
SIZE=4>都営新宿線</FONT><TR></TABLE></FONT>
</CENTER>
<P>
<IMG src="55.gif" ALIGN=LEFT><UL>
<LI>名前:
<INPUT name="TEXT" size="30" maxlength="31" align="middle">
<LI>E-mailアドレス:
<INPUT name="TEXT" size="30" maxlength="31" align="middle">
<BR>
<LI>性別: <INPUT type="radio" name="Radio" align="middle">男性
<INPUT type="radio" name="Radio" checked="checked" align=
"middle">女性
<LI>コメント: <TEXTAREA name="TEXTAREA" rows="2" cols="50"
align="top">メッセージを書いて下さい。 </TEXTAREA><LI>ご記入後、
右のボタンを押して下さい。 <INPUT type="submit" name="Submit"
value="送信" align="middle"><INPUT type="reset" name="Reset"
value="リセット" align="middle"></FORM></UL>
<P>
<HR><C)>Asterisk Inc.</BODY>
```

次ページ以降のHTMLエディター試用レポートでは、各HTMLエディターの機能とNetscape拡張機能(およびHTML3.0の仕様の一部)への対応状況をアイコンで示してあるので参考にしてほしい。

-  レイアウトイメージのまま編集
-  イメージマップ作成機能
-  リンクチェック機能
-  タグ対応
(Netscape拡張)
-  <BLINK>タグ対応
(Netscape拡張)
-  <BODY BGCOLOR>タグ対応
(Netscape拡張)
-  <BODY BACKGROUND>タグ対応
(Netscape拡張)
-  <TABLE>タグ対応
(Netscape拡張/HTML3.0)
-  <FORM>タグ対応
(Netscape2.0拡張)

COSAIC WebDesigner V2.0

ホームページ統合制作環境を提供する業務用多機能ソフト



動作環境	: Macintosh (LC475以上/ppc) Windows 95
開発元	: 株式会社ビジョン・コーポレーション
販売元	: 日本コダック株式会社
問い合わせ先	: tel. 03-5488-2365 (日本コダック)
税別定価	: 198,000円

URL <http://www.vision.co.jp/>

ビジョン・コーポレーションの開発した「COSAIC」(コザイク)は、今回取り上げたエディターの中で最も多機能な純日本製WYSIWYG型のHTML編集ソフトである(今回の評価では4版を使用した)。

このソフトはHTMLを編集する編集モードとレイアウトイメージをブラウズするブラウズモードを切り替えて利用できるようになっている。インターネット上のWWWサーバーにアクセスするWWWブラウザーとしての機能も持っており、アクセスしたホームページをそのまま編集できる。

また、今回取り上げたソフトの中で、編集

画面がNetscapeでブラウズしたときのレイアウトのイメージにいちばん近かった(Netscape Goldよりも!)のがこのソフトだった。とはいえ、タグが入れ子構造になっているホームページを読み込むとうまく認識しないうえ、読み込み時に認識できなかった部分については保存時に消去されることがあるため、うっかりそのまま書き保存しないように気を付けたい。

リンクの設定はドラッグ&ドロップで簡単にできるようになっているし、グラフィック編集機能についてはGIFのインターレース設定や透明設定、JPEGの保存オプションなども



充実している。ただし、クリッカブルマップの設定機能はない。

また、ファイル間のリンクチェック機能を装備しており、最初のページを指定するだけで、そこからリンクされているすべてのファイルやグラフィックに対するリンク設定情報を自動的にチェックしてくれる。これはファイル名の変更や間違いなどによる動作不良を防げるのでありがたい機能だ。

業務用ツールということでは他のソフトとは価格設定がまったく違う製品で、たしかに他のソフトと比べても機能は豊富だ。多少レスポンスが重たいと感じられた(PowerMac8500/48Mバイトの環境)ことも事実であるが、製品版では改善されていることを期待したい。



図1 サンプルページの表示 Netscapeで表示されるレイアウトに最も近い、表組みは簡単に作れるが、セルの中にフォームを設けることはできなかった。



図2 強力なリンク管理機能を持つ

Adobe PageMill 1.0J

レイアウトのまま軽快に編集作業ができる



動作環境	: Macintosh (68020以上/ppc)		
開発元	: アドビシステムズ株式会社		
販売元	: システムソフトウェア ソフトウェア・ツアー メディアビジョン		
問い合わせ先	: tel.092-752-5264	: tel.03-3797-5788	: tel.03-3222-6841
税別定価	: 29,800円(日本語版)		

アドビシステムズの「PageMill」(ページミル)は実際のレイアウトでそのまま確認しながら編集できるWYSIWYG型HTML編集ソフトである。ただし、HTMLのソースを直接編集する機能はついていない。

グラフィックファイルの加工機能はかなり充実している。非常にこなれたインターフェイスの独自のエディター上で、クリックマップの作成やGIFの透明設定ができる。さらにうれしいのがPICTなどのデータをドラッグ&ドロップでそのまま読み込み、GIFなどにファイル形式を変換してくれる機能である。

このソフトには独自のペーストボードがついているがこれが非常に使い勝手がよい。グラフィックやHTMLファイルなどを保存できるので、ページが変わっても同じ場所に表示

したい著作表記やボタンなどを登録しておくことと便利だ。これもドラッグ&ドロップでレイアウト上に持っていける。なお、未対応のHTMLタグについては別カラーで表示するようになっている。表作成機能などに対応していない点は残念だが、認識できないタグを無理に変換したりせずに素直に読み込むので、あとでテキストエディターなどで再編集できるのはありがたい(というも、他のソフトは勝手にタグをいじってしまうことが多いのだ)。

今回「PageMill」を試用していて感じたのがテキストエディターなみのレスポンスのよさだ。今後のバージョンアップでも機能の豊富さを追いかけるよりも、このレスポンスだけは絶対に犠牲にしないでいただきたいもの



である。

全体的なインターフェイスも非常にすっきりとしたわかりやすいものになっている。このソフトは、初心者から大量のページを作成するプロまで、Macintoshを利用してホームページ制作をする多くの人におすすめできる製品である。

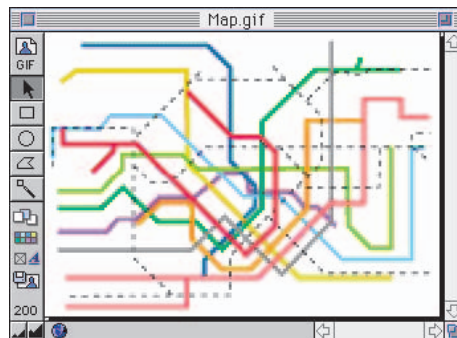


図2 グラフィックファイルの編集画面

図1 サンプルページの表示 対応していないタグを読み込むと、ソースがそのまま表示される

HOTALL



シンプルながら快適な作業を実現



動作環境 : Windows 95/ 3.1、OS/2、Macintosh (68020以上/ppc)

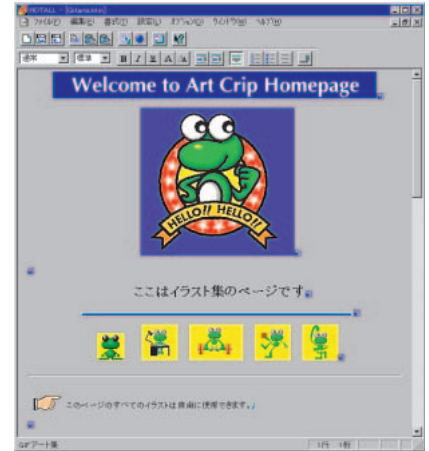
開発・販売元 : デービーソフト株式会社

問い合わせ先 : tel. 011-807-6730 fax. 011-807-6720

税別定価 : 20,000円

URL <http://www.db-soft.co.jp/>

<ftp://ftp.db-soft.co.jp/pub/trial/> (体験版ダウンロード)



WYSIWYG型のHTML編集ソフトには非常に多機能なものが多いが、今回取り上げたソフトの中ではデービーソフトの製品「HOTALL」(ホタル)はシンプルな部類に入るであろう。

メニュー項目も少なく表組機能もサポートしていない(対応予定)。HTMLのソースを直接編集する機能もなく、一見すると他のソフトに見劣りしてしまう。

だが、そのシンプルさは実は洗練されているのだ。書式やリスト表記はきちんとサポートし、基本性能はしっかり固められている。グラフィック機能に関しては、ドラッグ&ドロップでBMP(ビットマップ)形式のグラフィックデータを貼り付けると自動的にファイル形式を変換してくれる機能や、GIFの透明

化、インターレース設定などを備え、JPEG形式もサポートしている。

「HOTALL」にはリンクブラウザー機能という非常に便利な機能が装備されている。ブラウズモードは2つあり、1つ目の「ハイパーリンク」モードは、ファイル内に設定された外部ファイルへのリンクを、2つ目の「ラベル」モードはファイル内に設定されたNAMEタグの位置をリストアップしてくれる。この機能は、非常に長いページを編集するときその威力を発揮する。通常のHTML編集ソフトでは、一画面に収まる程度の分量のデータをいかに効率よくレイアウトするか主眼が置かれている。しかし非常に長いページを編集する手間は、その編集環境がWYSIWYGになっても大きく軽減されるわけではない。だ

が、ダブルクリックで望むファイルの中の思った場所にアクセスし、その場で即編集できるこの機能は、これまでの苦勞を嘘のように軽減してくれるだろう。

なお、4月以降にはOS/2版とMacintosh版の発売が予定されているとのことなので、対応する環境をお持ちの方はチェックしておこう。

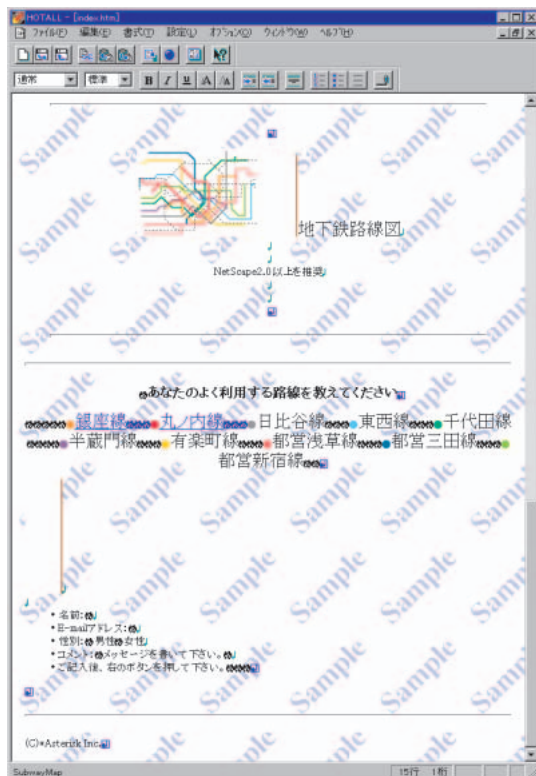


図1 サンプルページの表示
テーブルやフォームタグには未対応

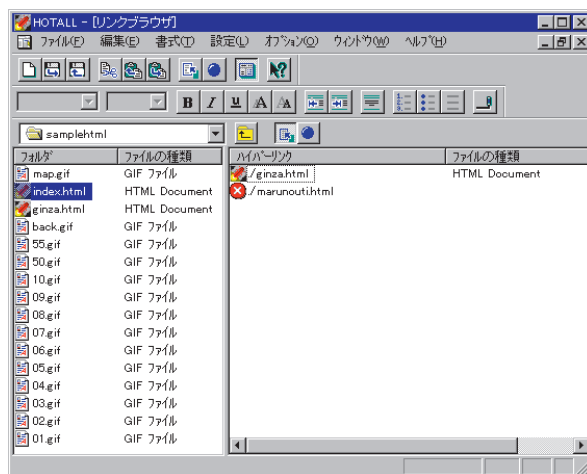


図2 リンクブラウザー画面
ダブルクリックすればリンク先が表示される

I-Write



ワープロ利用が中心の人におすすめ



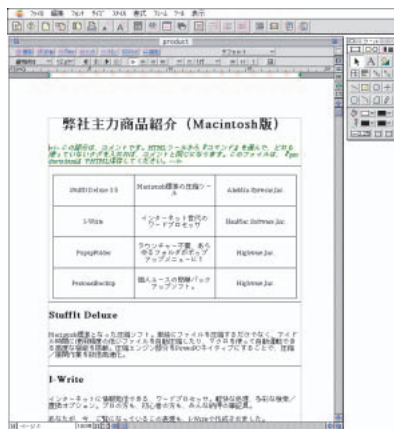
動作環境	: Macintosh (68k/ppc)
開発・販売元	: ウィニングラン・ソフトウェア株式会社
問い合わせ先	: tel. 03-3372-8440 fax. 03-3372-8447
税別定価	: 19,800円

ウィニングラン・ソフトウェアの「I-Write」(アイ・ライト)の本質はまさしくワープロソフトである。ワープロ本体としての実力としては、同じMacintosh用のワープロソフトで利用者に根強いファンが多い(有)パスカルの「パスカルライト」に近いコンセプトの製品である。マルチリンガル対応、無駄な機能は省きながらも業務用のDTPソフトに匹敵するテキストの画像回り込み設定機能やスタイルシート設定機能を備えるなど、ちょうどよい機能装備、シンプルでなによりも軽快な動作。使いやすいパレットを備えており操作性もよい。このソフトの場合、これらに加えてインターネットをかなり強く意識した作りになってお

り、HTMLの書き出し機能だけでなく、メールソフトとの連携機能まで装備しているのである。

HTMLの書き出しについては、書式や表組など、ほぼ満足のいく機能を備えている。このほかに、ダイアログでURLを入力する形式でありながら、リンク設定機能も備えている。しかし、HTMLの編集ソフトとして見ると、「I-Write」で作成したファイルしか利用できず、HTMLファイルの読み込み機能がないことは少し残念な点だ。あくまでワープロの購入を検討していて、HTML書き出し機能を付加価値と考えられる人なら購入を検討する価値は十分にある。

図1 サンプルページの表示
フォームタグには対応していない



ホームページビルダー



高機能で低価格、マップエディターも装備



動作環境	: Windows 95、OS/2
販売元	: 日本アイ・ビー・エム株式会社
問い合わせ先	: tel. 0120-04-1992 (フリーダイヤル)
税別定価	: 14,800円

URL <http://www.ibm.co.jp/Products/news/960326/home/>

IBMの「ホームページビルダー」は、実際のレイアウトで直接編集できるWYSIWYG型のHTML編集ソフトだ。もともとIBMのワークステーション用に開発された同名ソフトのWindows 95移植版で、ほかにOS/2Warp版もある(今回はWindows95用の版を使用した)。このソフトもWWWサーバーへのアクセス機能を持っているので、ネットサーフィン中に見つけたお気に入りのページを読み込んで、それを直接編集するという芸当もできる。また、Netscapeでのレイアウトイメージを再現するという点でこそ「COSAIK」に劣るものの、タグが入れ子構造になっている場合にもかなり正確にレイアウトを再現してくれて、

HTMLタグの認識精度は高い。ただし、今回試用した版では誤認識した場合に勝手にHTMLソースを書き換えてしまうこともあった。グラフィックデータの貼り込みやリンク先ファイルの指定などはドラッグ&ドロップでできる。クライアントサイドのイメージマップについては、直感的な操作が可能なインターフェイスを備えたマップエディターを装備している。表組も簡単に作成でき、正確に読み込むことと合わせて非常に信頼性の高いものになっている。また、セルを結合して複数のセルを1つにする設定が可能なのもこのソフトの特徴である。表作成機能は非常に高機能で、

図1 サンプル画面の表示
タグの認識精度はかなり高い

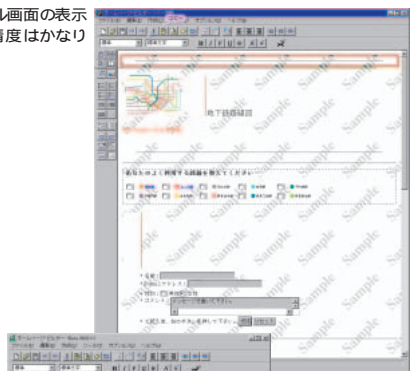


図2 クライアントサイドのイメージマップの設定は専用のエディターで直感的にできる

使いやすいインターフェイスを備えている。さらにWYSIWYG型のソフトにはめずらしく独自のテキストエディターを装備しており、HTMLのソースを直接編集できる点はあるが、また、他のソフトに見られない特徴として、Javaのアプレットビューアを呼び出す機能も持っているなど、このソフトは今回試用したソフトの中ではたいへん高機能であるにもかかわらず、普及価格に設定されており、お買い得感はかなり高い。

WZ-EDITOR for Windows Ver 2.0

テキストエディターの感覚でホームページを作成できる



動作環境	: Windows (95/NT/3.1)
販売元	: 株式会社ビレッジセンター
問い合わせ先	: tel. 03-3221-3525
税別定価	: 9,800円

NIFTY-Serve SVC

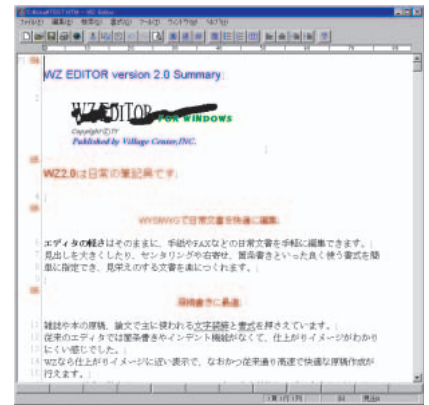
ビレッジセンターの「WZ-EDITOR」はテキストエディターにHTMLの編集機能がついた製品。ただし、ワープロアドイン型のソフトにありがちな、単に読み込み時と書き出し時のみHTMLタグを変換するという製品ではない。WYSIWYG型のHTML編集ソフトの側面も持ち合わせているのだ。

このソフトの大きな特徴は画面表示に3つのモードを備えていることである。それぞれ、HTMLファイルのソースを表示するテキストモード、テキスト部分はWWWのレイアウトを再現してファイルのリンクはパスで表示する高速モード、グラフィックなどもそのまま表示する詳細モードである。これを切り替えることでソースとレイアウトを見比べながら作業ができる。この機能は一見するとそれほど目を引く華やかなものではないが、使い込む

ほどにその便利さを体感できる。ホームページ作成ソフトを使用している、やはりHTMLのソースを直接いじりたくなることがよくあるが、ソースの編集機能が貧弱だったりすると結局は基となるデータをテキストエディターなどで編集するはめになる。その点このソフトはもともとがテキストエディターなので、その編集機能を十分に活かせるのだ。

グラフィックやファイルのリンクはダイアログから選択する形式となっているが、パスの絶対値と相対値の指定の選択などもできる。このソフトが自動設定したパスをテキストモードでただちに編集できるのはテキストエディターならではである。

表組もサポートされており、このソフト上で作成した表をHTML形式で書き出したり、あるいは表を含んだHTMLファイルを読み込

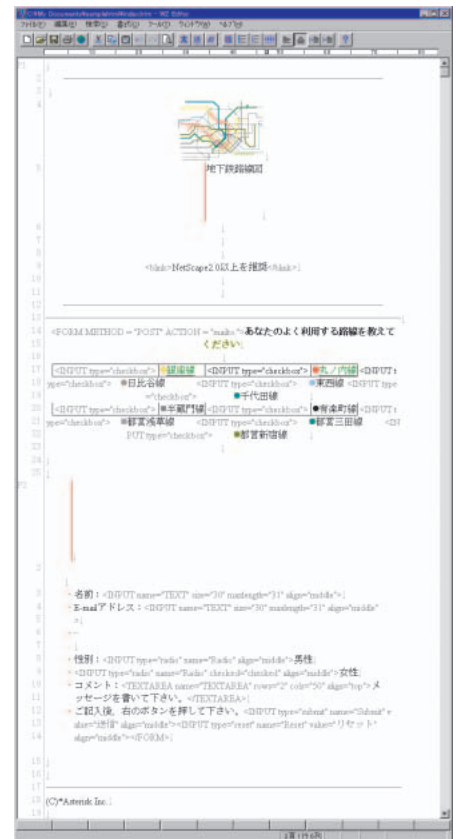


み、このソフトで表レイアウトのまま編集ができる。

HTML編集ソフトとして誕生したソフトには、リンクをチェックするブラウズモードとWYSIWYGでの編集モードを中心として、レイアウトを手軽に行えるようにした製品が多いが、テキストエディターを基本とするこの製品は、ソースを直接編集するモードとWYSIWYGでの編集モードがその基本になっていて、快適な編集ができる。HTML編集ソフトのもう一つの方向を示す製品といえよう。



図1~3 WZ-EDITORは3つのモードを切り替えて編集ができる。左から「テキストモード」、「高速モード」、「詳細モード」によるサンプルページの表示



WordToWeb



Wordの文書をHTMLに効率よく変換してくれる



動作環境	: Windows 3.1/95/NT
販売元	: NEC汎用アプリケーション事業部
問い合わせ先	: tel. 03-3456-8343 fax. 03-3456-6348
税別定価	: 9,800円

NECの「WordToWeb」はWordをHTMLエディターとして利用するためのワープロドイン型のソフト。基本的な編集画面は見覚えのあるWordそのものだが、WordToWebテンプレートを使用するとツールバーがHTML編集用のそれに切り替わり、HTMLからWord文書への変換、Word文書からHTMLへの変換、FTPによるサーバー登録などができる。なお、このFTPによるサーバー登録機能は今回取り上げたソフトの中でもこのソフトだけにある。この機能のおかげでHTML化したファイルをわざわざ別のFTPソフトでサーバーに登録するといった無駄が省けることになる。クリックブルマップについては独自のグラ

フィックエディターで設定できる。最終的にはWord文書からHTMLへの変換を行うことで、Word上で作成した表組も罫線も書式も自動的にHTMLに変換してくれる。この際、認識できなかったタグは隠し文字として文書中に保存されるようだが、今回試用した版ではタグが消えてしまうこともあった。

このソフトの場合、HTMLファイルの編集用というよりも、Word文書のHTML変換ソフトという性格が強い。たとえば、企業などで蓄積されたWord文書をインターネットで発信したい、あるいはイントラネットで活用したいという場合などには非常に役立つツールであろう。

図1 サンプルページの表示画面

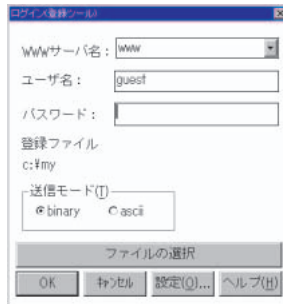


図2 FTP転送でサーバーへの登録ができる

Netscape Navigator Gold 2.0 2

定番ブラウザに基本的なHTML編集機能がついた



動作環境	: Windows 95/NT
開発元	: Netscape Communications (フリーソフトウェア)
URL	http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html

「Netscape Navigator Gold」はWWWブラウザの事実上の標準であるNetscape Navigatorを開発したNetscape社のHTMLエディターで、同社のホームページからダウンロードできる。Netscape Navigator2.0の機能をほとんど含んでおり、WWWブラウザとしての機能はもちろん、メールやニュースを読み書きする機能も持っている。

ただ、肝心のHTML編集機能ではホームページをブラウズしたときとまったく同じレイアウトで編集できるわけではない。このソフトが表形式をサポートしていないのは仕方ないとしても、グラフィックにおけるテキストの回り込み設定などのレイアウトも再現されないのは物足りない。

付加価値的な機能面では、他のエディタ

ーに完全に遅れを取ったかたちだ。なにより「Netscape Gold」だけのオリジナル機能というのがすくには見当たらないのは残念である。

しかし、「PageMill」同様、使い勝手のよい軽快な仕上がりになってはいる。このソフトをHTML編集ソフトの大本命と考えていた人は多いはずだが、現在のレベルはまだその期待に応えるものではないだろう。今後に期待したい。

図1 サンプルページの表示画面
未対応のタグはアイコンで示される





Internet Assistant for Microsoft Word 95

Wordユーザー向けにマイクロソフトが開発した多機能ソフト



動作環境 : Windows 95/NT

開発元 : マイクロソフト株式会社 (版配布中)

URL <http://www.microsoft.co.jp/office/word95/iaword95.html>

「Internet Assistant」(インターネットアシスタント)はマイクロソフト純正のインターネットホームページ編集用アドインソフトで、インストールするとWordにHTMLの編集機能が付加される。ファイルメニューに「インターネットのアドレスを開く」、「ホームページを開く」といった項目が追加され、WWWサーバーへのアクセス機能を備えていることがわかる(ただし、「WordToWeb」にあるようなWWWサーバーへのFTPによる登録機能などがあるわけではない)。また、保存の際にもHTML形式を選択するだけでなく、わざわざ変換機能呼び出さなくてもHTMLファイルの作成ができるのは純正ソフトの強みだろう。

多機能はマイクロソフトの得意とするところで、機能的には表組やフォーム機能のサポートなどぬかりがない。さらには、マイクロソフトのWebブラウザであるInternet Explorer独

自のタグもサポートしている。

ワープロアドイン型のソフトの多くに言えることだが、HTML編集用の専用ソフトに比べるとメニューが煩雑でわかりづらい。慣れないうちは目的の機能を探すのに時間がかかり、場合によっては自分でタグを打ち込んだほうが速いと思えることさえあるのも事実だ。

このソフトの特徴は事実上の世界標準ワープロであるWordの機能拡張ソフトであるということにつける。まだインターネットに触れたことがなくてもWordなら使ったことのあるという人はたしかに多いし、その見なれた画面の中でホームページが作成でき、これを世界に向けて発信できるとなれば、このソフトはインターネットによる情報発信のすそ野を確実に広げるだろう。製品版は「ワード95インターネットパッケージ(1万2000円)に搭載されることになっている。



図1 サンプルページの表示画面

今回のテスト環境

今回のテストでは、快適な作業ができるように、Macintoshではマルチメディアマシンとして定評のあるPowerMac8500/120(HDD2Gバイト/RAM48Mバイト)、WindowsではDECの最新機種Digital HighNote Ultra II(HDD1Gバイト/RAM16Mバイト)を使用した。Digital HighNote Ultra IIIはノートブックながらPentiumプロセッサ(100MHz)と10.4インチ800×600ドットのTFT液晶ディスプレイを搭載しており、デスクトップと比べても遜色ない作業ができた。

薄さが28.2mm、軽さが1.8kgと超薄型のDigital HighNote Ultra II(価格:548,000円~)





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp